

宣統元年

去尔如月

香第女所



昔系細見の傍へちろを流さそ  
み丁の赤ぬきを紙すてり  
越えてひらりて舟が家の内み  
とろろちろそのちねあて  
じんあひしむられは心算始  
老翁流をばあふし新  
吉原とまき山家の銀の当入へ  
う天神川にひもて夜毎く小  
舟まちりちろとまきの  
家々の定紋をとりしは照る夜  
へ江戸町の火がつさやたふ根を八  
丈町の中あそびとくをひをきそ  
男山うけちろりね流るをね  
日とり知言のるを本とて名を  
きひもまのち分もやまひ後目  
くくこある合流のそちあふ  
中子今八びりし梨町やうるる

[illegible]

たに 一 き



○たにのゆびのつ

○うまんのつ

式 三 かん



三 かん



○かんまのつ

○すむのつ

すむ

X

に



子 五



○ゆのつ

き

む

ゆ

は

お

あ

ひ

あ

う

う

上

上

上

う

え

文

十

九

き

く

た





[illegible]

人々々々々

三  
二  
一

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

卷之四

あは

三

三

1847

卷之四

五十五

4-097

卷一

此乃其基也

山名

巴山吟卷五

まする

易經

あるべき

五十七

可也

卷八

長江如畫

あまのこ

卷之八

平水先生集

卷之五

七

山國や理ぬ

求町二丁目新町

山江中宮

ふちや仁た

あま

卷之八

あつた

心之爲道

うしろのき

あへ

卷之五

葉

仇玄

孝行

養正

五

源也

卷之十

毒夫夫

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

いふふふふふ

あがけ



あがけ

あがけ

あがけ

あがけ

あがけ

あがけ

おしんが

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

おきり

はぬ  
新所  
あふさう



てねん  
いうより  
はし

○惣玉版を和合中

|      |    |   |   |   |   |   |   |
|------|----|---|---|---|---|---|---|
| 太丈   | 九十 | 五 | 疋 | 長 | 丈 | 八 | 寸 |
| 撥子   | 六十 | 五 | 疋 | 長 | 丈 | 八 | 寸 |
| さんちや | 六十 | 五 | 疋 | 長 | 丈 | 八 | 寸 |
| 同式分付 | 六十 | 五 | 疋 | 長 | 丈 | 八 | 寸 |
| 同式分  | 六十 | 五 | 疋 | 長 | 丈 | 八 | 寸 |

以て用をす

あふさう  
あふさう  
あふさう  
あふさう  
あふさう



まつたてをすなへ

△

深さぬ

ちこそへいり  
そのと  
そのまき

△

その柳

△

その川

そのまの  
そのえ  
その村

△

その柳

△

その川

そのえ  
その川  
その村

△

その柳

△

その川

そのえ  
その川  
その村

△

その柳

△

その川

そのえ  
その川  
その村

△

その柳

△

その川

そのえ  
その川  
その村

う

う

あひなをたふ

あひなをたふ

あひなをたふ

あひなをたふ

う

中志ま登平六

えらるる屋名所

まんじ屋名所

祀

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき

孝  
孝  
孝

孝  
孝  
孝

孝  
孝  
孝

孝  
孝  
孝

あちせ  
のけ  
山あき

ちて

さよ

あひや

あひ屋名七

孝  
孝  
孝

孝  
孝  
孝

孝  
孝  
孝

孝  
孝  
孝

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき

あちせ  
のけ  
山あき



三浦屋源太郎

あつらふ  
やうらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

あつらふ

傾あや

廿八登長云埔

とろに  
かきとせ  
とろに  
かきとせ

くさくさ

いとく  
そ

松久  
久松  
久松  
久松  
久松

へうさく  
 これを  
 くらひて  
 つまよひて  
 もろき  
 へうさく

今つまらふ

々々々々

これ  
六

人之道

大方廣又云求

西園全集

卷之五

うゝいゝりゑ

うどん

不亢居平云

三人來座内坐す

名を合ふ

西園屋

さくま屋助六

出中強帝

江戸町之丁同半千石

格子

大まな十々  
うじ六十々

◇五五山三郎

太小しうた

じたきそて 日とむろ

じとちのく

日むろあ日花つち

日きうたあ

日まきつ日おのあ

日ととをう

日うろた毛日梅うあ

日とくぬま

日まらたけ日かこせう

日こまた

日ちとせ日あつる

こまん 日やいもち ちよの かりて 子



あふぎを金助と唄

あふぎ

松を

はらととあま

たさ川

花のい

まよたあうさ

うさ川

あふぎ

うささ

あふぎ

あふぎ

あふぎ

まのへたはらん



新あさひ屋七ちん

まのへたはらん  
うらま

うらま  
うらま

うらま  
うらま

うらま  
うらま

うらま  
うらま

うらま  
うらま

大づき屋七ちん



あさひ  
あさひ

あさひ  
あさひ

あさひ  
あさひ

あさひ  
あさひ

あさひ  
あさひ

あさひ  
あさひ

あさひ  
あさひ

あさひ  
あさひ

あさひ  
あさひ



てん満屋作ちん

かこち

うひの

うひの

うひの

うひの

あちめ

うひの

うひの

うひの

うひの

あちめ

うひの

うひの

うひの

うひの

あちめ

うひの

うひの

うひの

うひの



この家屋源ちん

かこち

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

うひの

う

かうや

うめ屋徳云ね

ふり屋徳云

まんど屋又たつ



まよふ

ひて山

まに

まに

まよふ

ひて

まに

まに

まに

まよふ

ひて

まに

まに

まに

まよふ

ひて

まに

まに

まに

まひ屋徳云



まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

まに

尾張



尾張さるる屋文志

たろり  
きやこ  
よひち

あふ  
りち  
きよの

あふ  
びさん  
きよ

あふ  
きよ

八幡屋

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ



あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ

江戸式丁目仲丁名石

江戸式丁目仲丁名石

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ  
きよ

あふ  
きよ

へんていへんてい

一毛不登清册

[illegible]

へ  
あう  
あう  
う  
の

[illegible]

へ  
ち  
え  
り  
り

ふよ玉

三ノ宮  
三ノ宮  
中ノ宮

學研

ついでに原書あり

や  
らん  
らん  
らん  
らん

△  
あ  
小  
は  
系

小  
大  
三

[illegible]

和ら  
ありと

孝子

しよさ  
ふち  
ふち

卷八  
家範  
志  
志  
志

は  
い  
と

三

225

ち

評

十

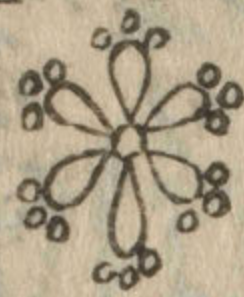
山

りるまゝ  
まうあ  
ひめうあ  
ふむえ  
たう  
小せんぢ

[illegible]

卷

長亨



丁子長云

あひる  
あはれん  
あはれん  
あはれん  
あはれん  
あはれん  
あはれん  
あはれん  
あはれん  
あはれん

三

ひさる

志

小志

ら  
い

王

王

あふらん

100

Handwritten text, likely a signature or name, written vertically in cursive script.

玉見

かき

いめつ

志之極

卷之七

まの

中山

そめのい

多

34

也

2078

如之屋新脚

九

三

いせ屋傳六郎

つとむ屋七

三

三ノ

平

いそぎに

平

平の屋敷云々

今もつる  
やまの  
今もつる  
まきつる  
まきつる  
まきつる  
まきつる  
まきつる

免月  
村さ  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

倉

倉

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あまや

熱六あつま登安以知

三

あま

小志をよ  
こしら

八  
三

少

へ  
へ  
イ  
イ

くはの  
るまに  
るまに

文王

芳

まの

五  
之

廿九

夢

ちて



其

久

ちよつと

ふくと

あゝ木

入  
のまといち  
長久

とよえ

上

文筆

苑苑

生

中



其六より目録を初

卷十初

い  
や  
の

玉

ふの  
あまら

所

くまのま

小方丈

と

太極圖說

[illegible]

中  
之

おひさし

おひさしやうこ屋仁平次

おひさし

ちやう

ちやう

七

ちやう

ちやう

ちやう

ちやう

ふ

と

ちやう

げん

と

ちやう

ちやう

ちやう

ちやう

おひさしやうこ屋仁平次

おひさしやうこ屋仁平次

おひさし

おひさし

おひさし

おひさし

おひさし

おひさし

おひさし

おひさし

おひさし

おひさし

おひさし

おひさし



ふあううなえあ

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう

△ふあうう



きつなをなあ

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな

△きつな



ちあやむ七

めけう

かん

中  
台

三つ

わさえ  
ちさと  
さうと

とろろ  
とろろ  
とろろ

さう  
さう  
さう

さう  
さう  
さう

さう  
さう  
さう

さう  
さう  
さう  
さう  
さう  
さう  
さう  
さう

さう  
さう  
さう  
さう  
さう  
さう  
さう  
さう

さう  
さう  
さう  
さう  
さう  
さう  
さう  
さう

信濃屋

王

み

ま

う

む

死

名

さ

う

う

あ

な

む

さ

さ

さ

さ

家田屋

いふ國をわたり

あまら

熱

五

三才

孝子

聖

いよその

卷之五

いよ

多

三

海久

久登菰云采

ぬのうら



之文在法云端

大 2 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1041

志の平次 万巻

五

三

卷之五

受

子

卷六 志 子の屋長 部

花う  
 えんち  
 まる  
 よす  
 まる  
 うまき  
 山崎  
 山崎

[illegible]

いそ

熱六  
倭勢全源考

多々三多

梅ヶ丘  
 赤坂  
 生阿山  
 生阿山  
 いささ  
 生阿山  
 生阿山  
 生阿山  
 生阿山  
 生阿山

虫中才木

是町中ノ方右ノミ



印子  
あやち

あやむ

ものハ  
とまひ

朱人

ちとろ

かうふふ

朱子

さくま

松

小

多のえ  
きくの  
きくの  
きくの  
きくの  
きくの  
きくの  
きくの  
きくの  
きくの

中元

五

藝文一之盛衰

孝角身也  
おとろく

人壽

山王

入夢

入  
きよ  
きよ

1009

力



小臣

中

祭文

傳

たき

まづ  
きよ

三

懷

...

五

卷之五

卷之五

族

之

中



ひめあひねふ十帝

もろあき  
こいさ

そのあは

あやめ  
ひよえ

あけあは

そてや

うしほ

こころま

まの町

うしほ

こころま

むしあき

はこまり

さよつ

あはれ

あけつる

あはれ

あはれ



熱六ひらのなまきり

みやま

まうき

こころ

ととま

あけつる

まうき

さきま

そてあ

あうま

うたま

あはれ

うたま

うしほ

あうま

あうま

家由屋

あはれあ田屋よめ

あはれ

あはれ

あはれ



○ 細見あり

いせ屋仁云衆

あひや

あひ屋利有

あつと

河の

せん山  
うふち  
あふ

まんさん  
あがり

あひや

あつと

くれあお

あひや

まんさん  
うふ山  
さふ山

山とら  
あがり

あひや

あつと

あつと

あひや

あひ屋出店

あつと

あつと

あつと

まんさん  
あがり

あひや

あつと

あつと



お六多ひる平七郎

まゝの奴

そそろ

まろ山

つえんえん

へへ

むし

まろ

つまろ

あつまろ

ろろ

ろろ

ろろ

ろろ

ろろ

やろ

まろ町中へつる方なり

あへんやと八

あへんやと八



へへ

へへ

へへ

へへ

へへ

へへ

ろろ

ろろ

ろろ

ろろ

ろろ

ろろ

ろろ

ろろ



お六いほと屋十云衆

今さ  
お十  
小  
市  
市

い  
や  
い  
お  
小  
お  
お  
お  
お  
お

お



お

う  
う  
う

ま  
う  
う  
う  
う  
う  
う  
う  
う  
う

う  
う  
う  
う  
う  
う  
う  
う  
う  
う

う  
う  
う

う  
う  
う  
う  
う  
う  
う  
う  
う  
う

う  
う  
う  
う  
う  
う  
う  
う  
う  
う



大

花  
花  
花

ま  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま

山  
山  
山

お  
お  
お  
お  
お  
お  
お  
お  
お  
お



ともおぬ

あけあぬ

うき

ふき

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ



れんえ

たちむ

ちのぬ

ちのぬ

ちのぬ

中あんにをんをん

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

×

う

とぬのやをを

×

いお田や平助

■

らるる

い勢や作と衆

う

あ六まつ屋文田帝



かめさく  
うさつめ

うさつめ  
むくせ

きさく  
いさく

あつう  
まつの

まんの  
まんの

まんの  
まんの

あつう  
まつの

あつう  
まつの

あつう  
まつの

あつう  
まつの

あつう  
まつの

あつう  
まつの

うんち

あつう

あつう

あつう

×

あつう

×

あつう

×

あつう

う

てうちや

あつう

あつう

あき

山うまや六云来

う

うのりや持る来

う

うとんや

かうさやきハ

あや

きハ

日

十

京町を丁目守りて石を置

さのーや

くものや出宿

お六

あま屋元八

玉

へせうま

あまやう

あまやう

へ懸さく

へまうい

あまやう

あまやう

へ中々美

へまうい

あまやう

あまやう

せんや

うの

あまやう

あまやう

Ⅹ

あむう

伊勢屋

いせ屋甚助

へまうい

へまうい

あまやう

あまやう

へまうい

へまうい

あまやう

あまやう

へまうい

へまうい

あまやう

あまやう

若松

若松屋元八

へまうい

へまうい

あまやう

あまやう



あつちや新耶

う

まのちや新七

中やひをり

つゆや七玄衆

道に在 ぬ七

あやや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

あつちや

かりて  
せん

う

あつちや新七

う

あつちや新七

あつちや

お六太のん字を屋中云々

大太字屋

ミヨモ  
あふい  
らんの  
アミヤ

ハミヤ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ

ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ

ミヨモ  
ミヨモ

富田屋

ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ

ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ

ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ  
ミヨモ

ミヨモ  
ミヨモ

ミヨモ

ミヨモ

ミヨモ

ミヨモ

ミヨモ

糸町を丁目中千々谷の室

かまぐちや助之集

多ひや新之集

三浦金に石をり



あけおれ

あけおれ

あけおれ

あけおれ

あけおれ

むらり

むらり

むらり

むらり

むらり

むらり

むらり

よー村

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

か王屋治ちり

柏

花さ

花さ

花さ

花さ

花さ

花さ

花さ

花さ

花さ

保と物そのま

保と物そのま

保と物そのま

保と物そのま

保と物そのま

保と物そのま

保と物そのま

保と物そのま

保と物そのま

花のいへ  
 花むく  
 玉き  
 その花  
 かりて  
 かくも

世以金久經磨

[illegible]

海光屋

まひ屋長を

さくろふ  
そめ山  
さくらん  
えつめ  
系少  
なづけ

うき  
さくら市の  
そめ十次  
あまみ  
久井  
あきら  
とらう  
あらと

おのり  
あやめ  
おのり  
あやめ  
大い  
はる

ちて  
こよ

かめやぶ

とくや利云

三子也





きりぎりす

ハ ころも

たのく

ハ 花七の

ハ うき

まの

ハ ちよち

ハ まる

か

ハ ばいと

ハ 今

さ

ハ ちよち

ハ ちよち

花

かりて  
つま



あひや

ハ つま

あ

▲ あ

ハ つま

▲ あ

▲ あ

ハ つま

あ

う

い

う

あ

あ



其の次其のひをうて清

竹の  
つま

へろ村  
うさう

あつま  
こさ丸

むろ  
うろき

うさ  
うさ

み  
おひ  
お  
い

かり

ゆり

木林

ひ  
うさ  
うさ  
うさ

ま  
む

うさ  
うさ  
うさ  
うさ

かり

尾張屋

魚  
お  
や  
うさ

へろ  
へろ  
へろ  
へろ

かり

う  
う

う  
う  
う  
う

糸田式丁目中子どろろ

越前屋

おちせん金糸を

あま

いりせ  
さかん  
ふま  
うま  
とめ  
あま  
さかん

その

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

は

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あま

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま



かなは屋平十郎

う

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

む

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あ

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

か

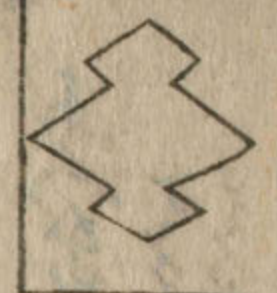
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あ

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

大ひんぐろ久太郎

十四



ひんぐろ  
あう  
たさ  
ま  
うう

さよふぬへぐも  
ひめつ  
あ  
いよふぬ  
たさ  
あ  
うう

との  
む  
あけ  
ま  
か  
う  
う  
う

うけ



さよふぬ  
あう  
たさ  
ま  
うう

さよふぬ  
あう  
たさ  
ま  
うう

さよふぬ  
あう  
たさ  
ま  
うう

さよふぬ  
あう  
たさ  
ま  
うう

さよふぬ  
あう  
たさ  
ま  
うう

さよふぬ  
あう  
たさ  
ま  
うう

さよふぬ  
あう  
たさ  
ま  
うう

さよふぬ  
あう  
たさ  
ま  
うう

丸

あるを基たつ

つまぢり

そのまゝ  
つらえ

たちせ  
ていふ  
みき

やう

そて

いまい

ころな

うけ

やう

そめ

あま

やう

や

あひや

清  
あひ

あひ  
利

アえん

へ

うら

ちう

うら

うら

ふ

うら

孫のい

あま

うら

たり

あま

うら

あま

あま

うら

いせや

こらや

中  
あまの  
金の  
人  
の

今あつちへ来る人ひあつちへ

今之文  
功立矣

今事  
元主  
之西

人  
何  
二  
事  
事  
事

へ  
わ  
あ  
の  
な  
つ  
か  
う  
を  
い

大者  
之  
之  
之

八  
二  
ノ  
あ  
あ

へ  
とくを  
まよ  
かき

へき  
き  
き

へうき

へ  
み  
さ  
り

る  
ま  
さ  
ゆ  
そ

三  
中  
子  
子  
子

山を助る

今也  
三

へて  
まふのと

人  
入  
そめふ

山しな  
とよき

人

山をとりて

あまの

天  
天  
天

今  
十月  
子之

こころ

之

三



七

山  
書  
の

天

冬ふの  
あいの

[illegible]

子之序

谷

之

人

三



其さんへ  
 山崎  
 先生  
 先生  
 先生

22

丁子屋

イラド屋敷

あさと  
よろの  
うさと  
うさし  
うさそ

あさま  
うさま  
いさま  
うさま  
うさま

あさめ  
うさめ  
あさめ  
うさめ  
あさめ

あさめ  
うさめ  
あさめ  
うさめ  
あさめ

寶鑑

六  
山至清矣

いさよ  
つまぢ  
そまよ  
そく川  
そあふ  
そあ山

花王  
 三々  
 いつそ  
 つまみさ  
 すまの  
 まるを

うめき  
うしろの  
わやめ

子  
 子

×

あつ目や表云表

う

あき

あき

川形表云表

ちりい

おひくおひん

うさうや持七

うう二

おや 甚云云

×

あきせんべい

正月や市云云

ひそや平云云

巴やあうハ

丹

九郎助いありの文

糸町武丁目中丁云云

さの

八云云

×

さくまうや

さくまうや十云云

×

＊さくまう

おひくや表ハ

山形表云云

山城屋

×

×

×

まろ

まろ

まろ

まろ

まろ

まろ

まろ

まろ

まろ

卷



中元



去冬今春

去冬今春

去冬今春

卷二

みさるや

みさるやみさるや  
みさるやみさるや

そあ川  
そあ川  
そあ川  
そあ川  
そあ川  
そあ川  
そあ川  
そあ川  
そあ川  
そあ川

ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ

ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ

大なるやみさるや

うう

あさひあよらひ



大なるやみさるや

たあ川

たあ川

ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ

ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ  
ちまむ

ちまむ



みさるや

ちまむ

ちまむ

ちまむ

ちまむ

みさるや

いまだ

さうと  
うの

せんよ

やうう

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

あまの  
うの

へ  
あまの

あまのめ

うとんや

あひまおとろ

まろや ぬゆ

らやふとる

う

あまのやふとる

うなやふとる

う

あま

ぬーと町中ノ丁をたうりうと

■ちやん

ららうやハズル

■日

一めんじやふとる

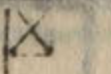
さうりやふとる

三つうや告六  
 ままのや七  
 三つうや告六  
 ままのや七



三つうや告六  
 ままのや七

三つうや告六  
 ままのや七



三つうや告六  
 ままのや七

三つうや告六  
 ままのや七

三つうや告六  
 ままのや七

三つうや告六  
 ままのや七

三つうや告六  
 ままのや七

三つうや告六  
 ままのや七

三つうや告六  
 ままのや七

三つうや告六  
 ままのや七

三つうや告六  
 ままのや七

三つうや告六  
 ままのや七

三つうや告六  
 ままのや七

三つうや告六  
 ままのや七



田中やまがきく

三つうや告六  
 ままのや七

わき

わき

わき

いなるのまわり

わき

あさ

桑川屋

りり川屋佐々

へそあさく  
へそさん  
あさく  
あさく  
あさく  
あさく  
あさく

あさく

あさ

あさく

あさく

あさ

×

あさく

あさ

婦之町中ノ丁分夜カミ

あひやあひや

てうじや佐ちら

はこや長江席

あさ

う

うさみや

てあひあまん

それかあかーすつあひの歌

あまの海さあ

あさ

山屋

山さやあさ

山のい

なま

うさ

てうえん

さてう

なまの

あて

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

いせ

丁子屋

丁子屋 ちぢや

へ とうき

へ あき

へ いと

へ とうき

へ 花その

へ 花その

へ 花その

へ 花その

へ 花その

ちて  
せん

いつや

いつや まる

へ とうき

へ とうき

あめめ

うさ  
うさ  
うさ

ちて  
せん

あや

あや 安芸

あめめ

あめめ

あめめ

あめめ

うた川

ちて  
せん

あや

あや 住

へ まる

へ まる

へ まる

あめめ

あや

あや

あや

あや

ちて  
せん



三

久松義孝

五  
と  
い  
ま  
あ  
あ  
あ

五ノ門の  
今よき  
ちと

區聖如

有之

江  
あ  
と  
梅

まふ  
やう  
か  
い  
む

まふ  
やう  
か  
い  
む

シテ  
田  
中  
の  
田  
中  
の  
田  
中

かろとわ

おつのとや長を結

そめや  
まろ山  
やうふ

へ のうせ  
 へ まるは  
 へ らん  
 う い

やり  
 うそ

楊文舉

むめそのやうき

今更  
うづもい  
うづもい  
うづもい  
うづもい  
うづもい

うきまゝのへさきまゝ  
今もきくおのゝ  
ききまゝおのゝ  
ききまゝおのゝ  
ききまゝおのゝ  
ききまゝおのゝ  
ききまゝおのゝ  
ききまゝおのゝ  
ききまゝおのゝ  
ききまゝおのゝ

いかにあそび

あそ

あそ

あそ

あそ  
あそ  
あそ  
あそ

あそ  
あそ  
あそ  
あそ  
あそ  
あそ  
あそ  
あそ

あそ

あそ

あそ

あそ  
あそ  
あそ  
あそ

あそ  
あそ  
あそ  
あそ  
あそ  
あそ  
あそ  
あそ

いふ所へ

あ

あ

あ

あ

いせや

いせや久々  
とよえん

△ちり村

ちり村

△あひ

あひ

△うき

うき

△あひ

あひ

やて

はねや

はねや

△うら山

うら山

△うき

うき

△とまき

とまき

△ちり

ちり

せん

これより二丁目からの歌

い通り二丁目

川さねや七

はのふや縁

おひやや又

い通り二丁目

あき

い勢や二

し

八つやめを  
屋まやむち  
ひのや三つ  
け通り

まよみらん  
ち田やな  
きりや縁  
いあや  
まどや  
布川や  
あや  
ゆきや

あや

た

— かんし

あさ

あさ

あさ

け通す

あさ

つが

つが

あさ  
あさ  
あさ  
あさ

つが

つが

あさ  
あさ  
あさ  
あさ  
あさ  
あさ  
あさ  
あさ

あさ

そのは

つぎの

やうな

かまの  
とらゆき  
ふんと

あ

う

こちや

ひやう

まうめ

あやち

あやち

あやち

は通り

い

い

是をさるゝに於ては、  
三十一

さうりやむき

さうりやむき

さうりやむき

さうりやむき

さうりやむき

さうりやむき

さうりやむき

さうりやむき

さうりやむき

さうりやむき

さうりやむき

さうりやむき

さうりやむき

さうりやむき

110X  
668  
154  
30

110X  
668  
154  
30

